



高村京子県議会報告

2021年11月議会

2021年11月県議会 12月2日・一般質問に登壇

地域小規模事業者の疲弊実態把握と対策について

商店街や小規模事業者の疲弊が進んでいる、大型店の進出や消費増税コロナ禍によっていっそう小規模事業者の厳しさは深刻となっている。実態調査と支援策を強めてほしい（表を参照）。

また、国の補正予算案に盛り込まれている「事業復活支援金」については、申請の煩雑さや支給の遅れがないよう事業所の支援となるよう国に求めてほしい。

上田市の商工会議所と二つの商工会の会員数の推移（高村調べ）

年	事業所数
2000	5045
2020	3838

この20年間に1207事業者・24%減少

県が実施している商店街調査

年	商店街数
2008	260
2017	217

この9年間に43商店街・1800事業者が減少（産業労働部長の答弁から）

産業労働部長

県の実施した商店街調査（上記）でも減少した。今年度は国の経済センサス調査が実施され、県として昨年度実施できなかった商店街調査を

実施する。国が実施を予定している事業復活支援金については、詳細が明らかになった時点で検討し必要な改善を求める。



高すぎる健康保険料の軽減策について

国保世帯の約7割が無職や非正規雇用で収入が少ない世帯で、そこに子どもにも均等割（県内一人当たり約2万円平均）が課せられ、重い負担となっている。国はようやく来年度4月から、就学前児童にかかる均等割の半額軽減となった。その対象人数と県の負担額はどうか。さらな

る負担軽減を実施してほしい。

健康福祉部長

対象児童は約7000世帯で約9300人、県の負担割合4分の1の負担金は約3200万円、県知事会でも求めてきた初の減額であり、さらなる拡大は考えていない。国に対しては、引き続きの減額を求めていく。

「困窮者に対する命と暮らしを守る支援体制を」も質問しました。裏面をごらんください。



観光委員会で発言 12月8日

長野県民旅行割を新潟県、富山県、山梨県、静岡県の皆様にも長野県内に旅行をされた場合に割引が受けられる。（その後、群馬県、埼玉県、岐阜県、愛知県も追加）

県民旅行割の事業について

旅行代金5千円から1万円未満の宿泊⇒割引2500円＋クーポン2千円。1万円以上では⇒割引5千円＋クーポン2千円。実施はR4年3月10日まで。

この割引に対し、ワクチン接種歴や陰性の検査結果の確認を行うとしていますが、「ワクチン接種できない人やウイルス検査は1回8千円から3万円の医療機関もあり、専門家は陰性証明は2日ぐらいしか意味がないと言っており、現実的ではありません。むしろ、感染予防マナーの徹底こそ大事では」と発言しました。

担当課長は、強制ではなく臨機応変に対応することになると応じました。



こんにちは県議会 高校生との意見交換会



（12月2日・議会棟）

県議会広報委員会が主催の県内高校生と県議12名との意見交換会が県庁で行われました。

県内各地の県立高校から18名の生徒の皆さんが参加され、事前に取り組んだ6つのテーマ（文理選択は必要なの？・高校生の身だしなみ・コロナ禍の文化祭・コロナ禍での国際交流は・自分の高校を見直そう・個性や多様性の出し方受け入れ方）についてのプ

レゼンテーションがあり、そのあと6つのグループに分かれて意見交流しました。

コロナ禍での文化祭は感染対策で制約があり盛り上げるために苦労されたこと、ICT活用では、まだまだ十分に活用できない場面もあり先生も生徒も模索中という感じでした。など現状が交流されました。高校生活を自ら主体者として取り組もうとしている姿勢にたくましさを感じました。

